

2022 年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2023 年 5 月 19 日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

## ■資金収支の概況

2022 年度の収入（「収入の部合計」－「前年度繰越支払資金」）は、52 億 4836 万円となりました。支出（「支出の部合計」－「翌年度繰越支払資金」）は、50 億 1238 万円となりました。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比 0.5%増の 37 億 2500 万円となりました。手数料収入は前年度比 13.6%減の 8356 万円となりました。寄付金収入は、1 億 3159 万円となりました。補助金収入は、私立大学等経常費補助金（私立大学等改革総合支援事業）や授業料等減免費交付金（高等教育の修学支援新制度）、地方公共団体補助金等の各種補助金の採択により 7 億 2771 万円となりました。公開講座や講習会による付随事業・収益事業収入は、前年度比 30.4%減の 1411 万円となりました。

支出の部では、教員人件費が前年度比 2.3%増の 14 億 7363 万円、職員人件費が 9 億 4996 万円となっています。教育研究経費は、前年度比 7.3%増の 12 億 6585 万円となりました。教育研究経費は、学生の教育研究および学生生活にかかわる経費であり、その他就職支援のための経費や基礎英語・日本語のリメディアル教育の拠点となる学習支援室運営の経費、教職支援や実習支援に関する経費等も含まれます。また、総務、財務、学生募集やその他広報に関する管理経費は、前年度比 11%減の 4 億 6313 万円となりました。施設関係支出は、2 号館無線 LAN 整備等により 3195 万円の支出となりました。設備関係支出は、仮想基盤統合や 1 号館 AV システム更新費等により 1 億 3726 万円となりました。資産運用支出では、将来の校舎の整備や教育研究に使用する機器の更新のため等に 5 億 8228 万円を積み立てています。

## 大谷大学 2022 年度決算

2022年度資金収支計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位 円）

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,725,003,000	人件費支出	2,495,271,194
手数料収入	83,564,800	教育研究経費支出	1,265,857,209
寄付金収入	131,598,442	管理経費支出	463,139,109
補助金収入	727,717,296	借入金等利息支出	0
国庫補助金収入	719,958,200	分担金等支出	14,000,000
地方公共団体補助金収入	7,759,096	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	14,115,924	施設関係支出	31,951,991
受取利息・配当金収入	57,485,307	設備関係支出	137,266,327
雑収入	135,101,195	資産運用支出	582,280,000
前受金収入	631,684,800	その他の支出	100,322,837
その他の収入	477,871,869		
資金収入調整勘定	△ 735,773,342	資金支出調整勘定	△ 77,708,230
前年度繰越支払資金	4,505,280,713	翌年度繰越支払資金	4,741,269,567
収入の部合計	9,753,650,004	支出の部合計	9,753,650,004

### ■事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的な収支である教育活動収支、教育活動外収支と、臨時的な収支である特別収支に区分し、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を示すものです。

教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、事業活動収支のバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べて事業活動収支計算書は、長期的な観点をもってあるものといえます。

### ■事業活動収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。

教育活動収入では、寄付金のなかに現物寄付として現物を金額換算した 246 万円が含まれています。

教育活動支出では、教育研究経費と管理経費の中に含まれる減価償却額が、教育研究経費では 5 億 123 万円、管理経費では 3793 万円となっています。基本金組入前当年度収支差額は、8575 万円となり、基本金組入後の当年度収支差額は 2 億 1972 万円となりました。

## 大谷大学 2022 年度決算

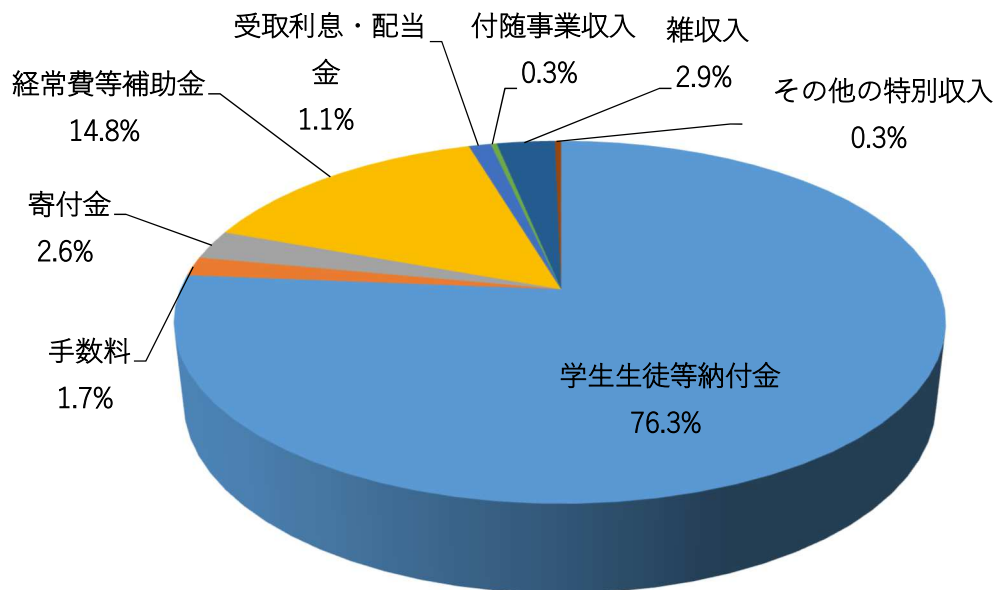
2022年度事業活動収支計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）（単位 円）

		科 目	金 額
教育活動収支	収 事 入 業 の 活 部 動	学生生徒等納付金	3,725,003,000
		手数料	83,564,800
		寄付金	129,029,098
		経常費等補助金	723,228,296
		付随事業収入	14,115,924
		雑収入	140,451,741
		教育活動収入計	4,815,392,859
	支 事 出 業 の 活 部 動	人件費	2,489,382,169
		教育研究経費	1,769,083,450
		管理経費	500,845,114
徴収不能額等		0	
教育活動支出計		4,759,310,733	
教育活動収支差額			56,082,126
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	56,074,980
		教育活動外収入計	56,074,980
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			56,074,980
経常収支差額			112,157,106
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	11,704,414
		特別収入計	11,704,414
	事業活動支出の部	分担金等	14,000,000
		資産処分差額	23,876,780
		その他の特別支出	227,199
		特別支出計	38,103,979
特別収支差額			△ 26,399,565
基本金組入前当年度収支差額			85,757,541
基本金組入額合計			133,963,489
当年度収支差額			219,721,030
前年度繰越収支差額			△ 838,716,223
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 618,995,193

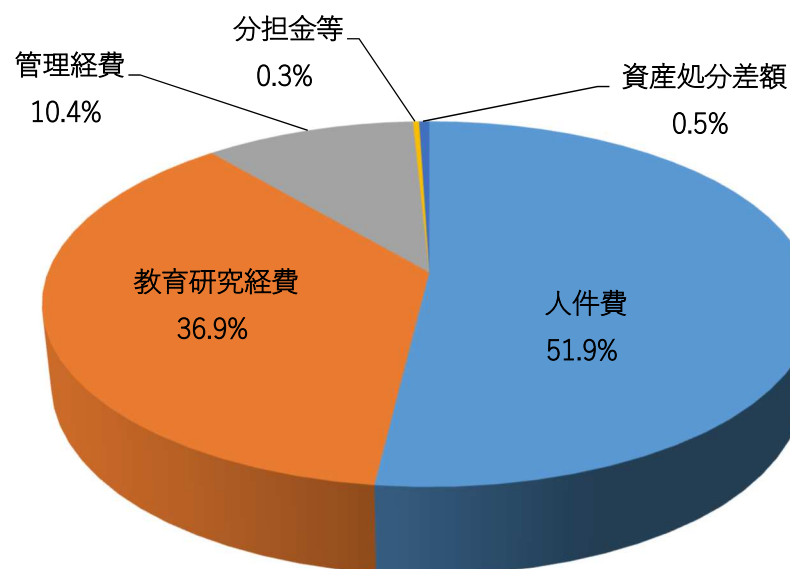
(参考)

事業活動収入計	4,883,172,253
事業活動支出計	4,797,414,712

【2022 年度事業活動収入構成比率】



【2022 年度事業活動支出構成比率】



## ■貸借対照表

---

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など各種の膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。その意味でこの貸借対照表は重要であり、事業活動収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、事業活動収入のうちから組入れたものです。この基本金と繰越収支差額の合計が正味財産となります。

## ■貸借対照表の概況

---

貸借対照表は、大谷大学を設置する学校法人真宗大谷学園全体のものを、学校法人真宗大谷学園のホームページで公開しております。学校法人真宗大谷学園は、本学のほか九州大谷短期大学、大谷高等学校・大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。

資産の総額は、513 億 9935 万円で、前年度に比べて 6575 万円の減額となりました。内訳は、土地、建物、備品、図書および引当特定資産などの固定資産が 435 億 430 万円、現金預金などの流動資産が 78 億 9504 万円となっています。

負債の合計は、41 億 963 万円で、前年度に比べて 9010 万円の減額となりました。内訳は、退職給与引当金などの固定負債が 26 億 395 万円、未払金や前受金などの流動負債が 15 億 568 万円となっています。

基本金は、497 億 9193 万円となり、前年度に比べて 1 億 176 万円の増額となっています。

詳細は「[関連リンク](#)」にあります「[真宗大谷学園／決算報告・事業報告](#)」をご覧ください。また、「[財産目録](#)」についても学校法人全体のものを公開しておりますので、あわせてご覧ください。